

日時：12月13日（火） 19:00～20:30

ZOOM開催 / 参加費無料

第5回

精神保健福祉士 / ソーシャルワーカー

専門性と将来のあり方を

語り尽くすプロジェクト

～障害・平等・インクルーシブ社会のあり方を考える～

参加者 × 講師 小林 学美氏



DET沖縄 代表 / 琉球大学・沖縄国際大学 非常勤講師

本プロジェクトは、前半講義・後半グループワークの2部構成で開催致します。前半の講義では、毎回全国でご活躍されております専門職の方を講師にお招きし、「精神保健福祉士 / ソーシャルワークに対する専門性と期待」についてご講義頂きます。

後半のグループワークでは、参加者の皆様に自由かつ対等に語り合ってください。経験や立場も超えて、精神保健福祉士とソーシャルワークの未来像について、語り合ってみませんか？もちろん、前半の講義部分のみの参加やまずは参加して色々な方の意見を聞いてみたいという方も大歓迎です。

<講師紹介>

沖縄で障害平等研修（DET）を実践する小林学美さんをお招きしました。小林さんは、沖縄の精神科病院勤務後、現在は宜野湾市教育委員会のsswスーパーバイザーとして活躍しており著書も出しております。DETとは、障がい者と健常者を隔てる社会の障害（バリアー）の原因や構造を理解し、社会を変えていくための行動を後押しし、インクルーシブな共生社会を目指す研修です。今回は小林さんの経験から、インクルーシブ社会における精神保健福祉士やソーシャルワーカーへの期待について、その実践から答えてもらおうと思います。

DET沖縄活動紹介

朝日新聞デジタル：自分ごととして考えることとアサーション（尊重し合う対話）の大切さ——絵本『どうする？ What do we do? ～災害時の命の平等編～』<https://book.asahi.com/jinbun/article/14563856>

★定員★研修100名 / グループワーク50名（いずれも先着順）

★参加要件★①宮城県精神保健福祉士協会会員

②日本精神保健福祉士協会会員（他県の会員も参加可能）

③県内のSW団体会員（社会福祉士会、医療ソーシャルワーカー協会等）

④社会にあるバリア（障壁）に関心のある方

★申込方法★①右の二次元コードよりお申込みください。<https://forms.gle/o95KRrsUD4Y92F646>

②peatixによる申し込みも可能です（URL）

上記の二次元コード等の読み込みができない方は以下のアドレス宛に「12月13日研修会」とタイトルを入れてご連絡ください。研修担当：miyagi.psw.kenshu@gmail.com

★申込締切★12月7日（火）

※申込者には研修参加に関するご案内を12月11日（日）までにお知らせ致します。

12/11までに案内が届かない場合にはお手数ですが、上記アドレスまでお知らせ下さい。



主催：（一社）宮城県精神保健福祉士協会・日本精神保健福祉士協会宮城県支部